



前沢区

前野清水にあずまやを整備

南在振興会が名所づくりに汗を流す

前沢区生母の南在振興会（千葉昭彦会長）は2月6日、地元の湧き水取水場にあずまやを整備し、上棟式を行いました。広さは約3畝四方。大工を本業とする住民ら約30人が作業に当たり、周辺から切り出したスギやクリの木を使って、1日かかりで完成させました。

この湧き水は、古くから「前野清水」と呼ばれ、井戸や水道が整備されるまで飲料水として親しまれていたもの。参加した住民は、地域の新たな名所として、さらに多くの人に親しまれることを望んでいました。

地域住民が今後の発展などを祈願しました



くくり雛を見ながら歓談する家族連れ

水沢区 祭りが笑顔と春を呼び寄せ

くくり雛まつりに多くの人出

水沢区の春の風物詩「くくり雛まつり」が2月26日から3月3日まで、区内21カ所で行われました。

ことしは10周年記念として、市内に残る古いくくり雛をメイプル会場に集めて展示。たくさんのくくり雛が集まったこともあり、会場はツアー客などで例年を上回るにぎわいをみせていました。おばさんのくくり雛を見に来たという神奈川県藤沢市の千葉夢乃ちゃん（5）は「家に帰っても忘れないように絵を描いた。ウサギがかわいい」と目を輝かせていました。

衣川区

思い出の学びやで幸せ誓う

さくら先生の結婚を祝う会を開催



教え子のエピソード紹介に笑顔を見せるさくらさんと智之さん

平成18年3月に閉校した旧南股小学校の体育館で2月11日、当時、教師として勤務していた佐藤さくら先生の結婚を祝う会が開かれました。教え子や保護者ら約120人が出席し、手作りの結婚式や披露宴で、さくらさん（36）＝水沢区＝と高橋智之さん（36）＝東京都＝の結婚を祝いました。

結婚式では、教え子に導かれた二人がバージンロードを歩いて入場。列席者の前で永遠の愛を誓った後、保護者が作成した指輪で指輪交換を行いました。教え子たちによる「祝いの言葉」では、面白エピソードに笑いが起きたほか、温かいメッセージにさくらさんや教え子が涙ぐむ姿も。式場内は、二人を祝福する温かい雰囲気になっていました。

水沢区

漆黒の闇に響く男衆の叫び

五穀豊穡、無病息災願う黒石寺蘇民祭

1000年以上の歴史を誇る黒石寺蘇民祭は、2月9日の夜から翌未明にかけて、同寺で開かれました。

男衆は瑠璃壺川で身を清め、五穀豊穡、無病息災を祈願。威勢のいい掛け声とともに柴燈木登や鬼子登などの行事が進み、午前5時ごろには、祭り最大の見所である蘇民袋争奪戦がスタート。激しい奪い合いは1時間以上にも及びました。会場には多くの見物客が押し寄せ、東奥の奇祭と呼ばれるこの祭りの醍醐味を存分に味わっていました。

蘇民袋を激しく奪い合う男衆



葉の落ちた林の中は日差しで明るく遠くまで見渡すことができます

胆沢区 一面の銀世界は自然の宝庫

長靴で雪山を散策しよう

自然を楽しむイベント「雪山を長靴で歩こう」が2月19日、ひめかゆスキー場で行われ、市内外から12人が参加しました。参加者らは、山の中腹までリフトで登り、スタッフのガイドで約3キロを散策しました。

散策の途中では、樹上のクマの寝床跡や、雪上のウサギの足跡なども発見。平泉町から参加した千葉スエさんと阿部奈美子さん（共に60代）は「普段入れない雪山を歩けた。景色も美しい距離もちょうどいい」と満足そうな表情を浮かべていました。

江刺区

古里の発展へ思いを新たに

田原振興会が設立45周年

田原振興会（菊地俊裕会長）の設立45周年記念式典が2月11日、ホテルニュー江刺新館イーズで開かれました。地区住民ら約130人が出席し、歴代会長らへの感謝状贈呈や記念講演などが行われました。

同会は昭和41年9月に発足。地域の文化、産業経済の振興に大きな役割を果たしてきました。菊地会長は式辞で「この素晴らしい自然環境を生かし、未来に向かい、新たなふるさと田原の発展にまい進したい」と協働のまちづくりに向けて抱負を述べていました。

出席者の前で式辞を述べる菊地会長



小惑星探査機「はやぶさ」計画の成功と苦労について語る川口教授



水沢区 科学の未来を宇宙求めて

先端加速器科学シンポジウム2011 in 東北

2月27日、市文化会館（Zホール）で先端加速器科学シンポジウムが開催されました。川口淳一郎教授は、小惑星探査機「はやぶさ」計画の成功を、ユーモアを交えながら説明。「困難にぶつかっても諦めないことが成功につながる」と語ってくれました。

山本均教授は「リニアコライダーは自然法則を解き明かし、宇宙の起源に迫れる」と建設の意義を説明。満員の聴衆からは活発な質問も飛び交い、会場は大きな盛り上がりを見せていました。